

## 軽井沢便り-3

旧軽井沢太郎山山荘から、現軽井沢南ヶ丘別荘に移住して3年目を迎えています。庭の樹木は、現別荘内の100本近く伐採し、原生林を7本残していたのですが、花に陽当りを良くする為に、今回5本(こぶし×3、マユミ×1、栗×1/栗は今年バケツ1杯拾った)の大木を伐採する。残るは、両手が届かないニレとこぶしだけになった。

一方、高価で入手が極めて困難なアツモリソウ×2株をはじめ中国産の白花アツモリソウ×3株など猪に掘り起こされたので、猪の防護ネットを設置し、再度これらのアツモリソウに取り組む。ネット内を高山植物の環境に合わせた土質改良をしていると、3年計画で本格的に高山植物に挑戦したくなり、1日10袋(1袋14L)のペースで、100袋程既存の土を除去し、鹿沼土、赤玉土、桐生砂、富士砂などブレンドした新しい配合土に入れ替えた。

中には、YBI増益塾受講の造園業者(長野市)が火山灰を好む高山植物用にと浅間石を砕いた砂を提供された。この砂と富士砂やゼオライトをブレンドするとガレ場で生存しているコマクサやシャジンに適する。

ヒマラヤの4000~5000mに咲いている青いけしに魅せられ、今秋株を取り寄せる予定でしたが、猛暑の為に発育が遅れ実現しなかった。クロアチ旅行で知り合った方から、青いけしの種をカナダで購入したと数年たった種を提供。多分、時間がたっているから発芽はしないと思う。

そこで、日本法人で昨年カナダに永住の経営者をお願いして、青いけしと数種の花の種が届いた。また、長野県下の知人からも青いけしの種を入手し、今秋と来春にその種を蒔く。

昨日、中国産の糸葉ユリと松葉ユリは入手出来なかったが、珍種のユリ(神領ユリ/愛媛県須賀町にのみ咲く、礼文姫エゾスカシユリ、他)が届き、植え込んだ後は霜柱防備にワラをユリ類(クロユリやササユリ)に敷く。

昨年、業者によって庭の宿根草の冬支度として全て刈り取った。それを見ていた私は、今秋自分で実施することにした。すると、至る所で珍しい宿根草を植え込みたくなり、これまた3年程掛けて取り組む強い気持ちが芽生えてきた。その為には、繁殖の良い宿根草×約10種を引き抜き、新しい宿根草の植え込むスペースを設けなければならない。

宿根草の刈り込みと並行して、新宿根草の場所作りに述べ6日費やした。刈り取った宿根草と引き抜いた宿根草は、小型トラックに4台になろう。そして、3分の1のスペースを空け、そこに新しい宿根草が登場する。現在、約400種の宿根草を育てているが、完成すると500種程に増え、庭が大きく様変わりするだろう。その為、今回大木×5本伐採し陽当りを良くするのである。

高山植物は、60歳を記念して仮称『足で観た高山植物』を出版する計画で、30代から高山に登っていたが、50代に軽い狭心症を患い断念した。太郎山は、高山植物に適していなかったから、山野草に留めていたが、南ヶ丘に移住してから高山植物に挑戦しはじめた。高山植物について、一般的知識は持ち備えている。ただ、軽井沢は涼しいが湿度が高く、高山植物には大敵である故に、失敗を繰り返しながら数年掛かるだろう。

軽井沢の紅葉は、例年10月20日前後が最適です。

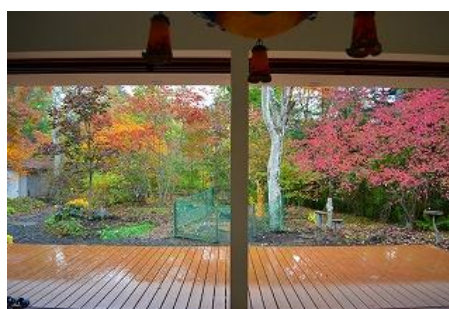
過日(10/19、20)、指導先のHS社が「軽井沢研修会」を開催し10数名が出席した。10/中旬、軽井沢で宿泊先を確保するのは極めて困難だが、ラッキーにも確保出来た。ところが、今秋は猛暑で紅葉が遅れ見逃したが、ここ数日寒暖の差が大きく今が見どころである。

軽井沢を代表するもみじは、20~30%の紅付きだが、ニシキギ、ナツハゼ、ヤマボウシ、つりがねまゆみ、ジュンベリー、山桜などは紅葉が最前線である。

我が家の庭の写真は、玄関から観た紅葉(京都名寺の栂<一番紅葉が美しい>は頂上が20%程紅付いてきた)、リビングの窓を全開した庭(野鳥が部屋に入ってくる。夏はオニヤンマが遊んでいた)、2か所の窓が全開する浴場(2F)から観る紅葉(冬は浅間山の雪景色が絶景)、書斎(2F)から観た庭、宿根草の刈り取中(手前が刈り取りで遠方が刈り取前の宿根草)、新しい宿根草の床作り(既存の宿根草を引き抜き黒い部分)である。



玄関から観た庭



リビングを全開した庭/緑色の囲いは猪防止

玄



浴室(2F)の北側/手前下が湯船



書斎(2F)から観た庭



宿根草の刈り取り/手前



新しい宿根草の床作り/黒い部分

今、咲いている高山植物は 2000m級のシャジン、山野草はトリカブト、リンドウである。軽井沢は空気が澄んでいるから、花の色が鮮明で濃く高山で観る花と同色である。

例年、沢山採れるガマズミ(砂糖付か焼耐付)は猛暑で実が少なく、ヒヨドイの餌になっている。チョウセンゴミシも極めて少なく、小瓶に蜂蜜で漬けたに過ぎない。餌不足は、野鳥にも影響して、リビングを開け室内にヒマワリの種を置いていると、ヤマガラ、シュジュウガラ、ゴジュウガラなどが入って来る。



シャジン



トリカブト



リンドウ

第3回軽井沢ハーフマラソンが、10/28に雨天の中開催された。年々人気が出ている。今回は、8,000名が参加(軽井沢の人口2万人弱だから40%増員)。第1回は、世界チャンピオンの高橋尚子さん、去年は女優の長谷川理恵さん、今回は美人ランナーの谷川真理さん(元資生堂)が招待された。過去2回は、我が家の前で観戦と応援をしてきたが、今回地元の役員から手伝いの要請を受け、家内は給水場(往路と復路)、私は往路の交通規制を担当した。規制前に地元のタクシーは、水たまりをよけて通行するが、県外の観光客はフルスピードで水たまりからの泥を何度かかぶった。心ある運転が望まれる。

私の交通規制地に、タクシーが路地から出て来て、マラソン道路の向かい側にE保養所があり、お客さんを出向いに来たと言う。道路の横切りは出来ないし、出来たとしても出られない。そこで、タクシーの運転手から、E保養所のお客さんに電話で呼び出し、交通止めのタクシーに来て頂いた。ご夫婦に赤ちゃんが居て、ランナー優先にしなくてはならない私なのに、雨中で赤ちゃんを如何にしてタクシーに乗せるか必死になった。

往路の交通規制が早く終わったので、交通規制のボラッチャの方達と給水場を手伝った。飲み終わりの空コップを元に戻すランナーが80%程居て、感謝をしながら『ありがとう。頑張ってください!』とハイタッチでランナーを送り出した。時々、疲れも手伝って、空コップを道路上に捨てるランナーも居た。途中から、小4の男の子が空きコップをランナーに差出し、殆どのランナーが彼の刺し延ばす空コップに収めていた。

専門的見地から分析すると、参加費@5,000円/人×8,000=40百万円の収入、出費概算10百万円と見積もって40百万円-10百万円=+30百万円(黒字)、この他にホテルが満席、地元観光店での買物、交通費など考慮すると、軽井沢の経済効果は約1億円と見る。ただ、明日が軽井沢中学の試験で、学生のボラッチャが4、5人だったのは寂しかった。年々、ボランティヤの数が減り、私達の16班は別荘から私達2名だったが、別荘の方も協力して町興しは如何かと考えた。但し、ボランティヤへの心遣いも大切だと強く感じた。



軽井沢ハーフマラソン



路地の車通行止め/右がタクシー マラソンの給水風景



16班の後片付け

P S : 写真の撮影は、紅葉の庭が10/27AM小雨。軽井沢ハーフマラソンが10/28AMである。